

未来社会創造事業 探索加速型探索研究

事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

ひとりひとりが実力を発揮できるワークプレイス

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

田邊 新一(早稲田大学 理工学術院 教授)

5. 評価結果

ひとりひとりが高い満足度を保ちながら実力を発揮して、多様な人材の間での知的融合による持続的イノベーションを目指す本研究開発は、人口減少、総労働時間規制など社会問題を抱える日本の労働生産性を高められる魅力的な課題であると評価され採択された。

探索研究期間の進捗として、非階層化クラスター分析によるワーカーの類型化や、個人適応型労働環境のモックアップを使った評価など顕著な成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、環境要素、生理量、空間満足度、生産性の関係を示すデータや数理モデルに関する成果が不十分であり、労働生産性を高められる「働く環境」を科学技術により創造するには、まだ検討課題が残されていることから、探索研究で終了という評価となった。

以上